

学校だより



平安

10月号

あったかハートで Hey!安心!!

まちとともに成長していく子どもたち

副校長 丸山 友洋

まだまだ昼間は残暑が厳しい日が続いておりましたが、朝夕に吹く風は爽やかで、秋の訪れを感じる季節になってきました。さて、今回は、4月に平安小学校に赴任してきて、私が感じた平安小学校の素晴らしいところを語らせていただきたいと思います。

この半年間で、私が一番強く感じたことは、平安小学校は、保護者や地域の方のサポート力がとても強い学校だということです。PTA活動、登校班、地域の行事や登下校の見守り活動、地域の方々に特別講師となっていたいただいたゴーヤや稲などの植物の栽培、本校を含めた市場中ブロックの独自教科である「鶴見ふるさと科」での鶴見川の災害の授業などなど…本当に多種多様な活動を保護者、地域の方々とともにに行っていることにとても驚きました。たくさんの方たちの温かい眼差しに支えられ、安心して、笑顔で学校生活を送っている子どもたちの姿を見て、学校教育目標「あったかハートで Hey!安心!!」が体現されている、とても素敵な学校だなと改めて感じました。

特に、今年度初めての試みであった地域の方々とともにに行った地域防災拠点訓練では、防災備蓄庫の見学、災害用トイレや放水訓練の体験、避難者受け入れ体験、物資の仕分け体験など、学校だけでは決してできない貴重な体験の数々を通して、「防災備蓄品には限りがあり、自分たちでも備えておくことが大切」「災害時は、自分の命を守ることも大切だし、さらにみんなで協力することが大切」など、自助・共助につながるリアルな気付きが生まれていました。また、物資を仕分けする仕事の体験では、「このセットはどれとどれを組み合わせればよいですか」と積極的に地域の人に質問したり、「その物資はこっちに置くんだよ」と自分たちで声をかけ合って試行錯誤しながら活動したりするなど、自然な形で子どもたちが人と関わりながら主体的に学習を進めていく様子を目の当たりにし、とても感動しました。

夏休み前に学校だよりや朝会で「サイからゾウへ変身する」という話がありましたが、平安小学校の子どもたちは、たくさんの保護者・地域の方々に温かく見守られながら、立派な「ゾウ」へと成長していっていると日々感じています。

今月は、第71回運動会も開催されます。運動会に向け、様々な取組や練習が始まったところです。これまで学んできたことを生かしながら、主体的に、精一杯に取り組んでいく姿が、今から楽しみです。子どもたちの輝く笑顔、さらなる成長に向け、私たち教職員も全力で子どもたちの学びをサポートしていきます。

今後とも、保護者、地域、学校が一体となって子どもたちの健やかな成長を支えていけるよう、温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。